

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2019年1月26日（土曜日） 13時00分～18時30分

場所： 東京八重洲ホール201号会議室(2F)（中央区日本橋3丁目4番13号）

出席代議員： 相川、青木、大朝、大向、岡村、奥村、河合、草野、柴田（一成）、須藤、林（左絵子）、馬場、望月、渡部、鈴木、谷本、榎戸、野村、松下、土居、井岡、縣、百瀬、大内、梅村、一本、鶴（以上27名、委任状12名）

欠席代議員：海部、小久保、田村、常田、戸谷、深川、犬塚、坪井、北山、横山、河野、長田、郷田（以上13名）

山下庶務理事、早野会計理事、佐藤事務長、黒岩事務員が出席した。柴田一成会長、土居副会長、林左絵子副会長は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が27名、議長委任状が12件、合計39件で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。前回代議員総会（2018年9月20日）の議事録が確認された。

また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：柴田一成

署名人：柴田一成

II. 議題

II-1. 公益社団法人日本天文学会2019年度事業計画の承認（資料3、山下）

ほぼ例年通りの事業計画であるという説明があり、全会一致で事業計画が承認された。

II-2. 公益社団法人日本天文学会2019年度予算の承認（資料4、早野）

今年度は赤字予算になっているが、一時的な事業による影響があること、積み上がっている遊休財産を減らす必要があることなどが説明された。また、研究奨励賞の原資として賛助会員の会費の半分を充てるなどが説明された。インターネット天文学辞典の運用と改訂、ホームページ作成及び運用、各種インターネットサーバーの維持運用経費、学会会場費の高騰など新しい支出があることが説明され、それに対する長期的なプランを作ることの重要性が指摘された。これらの議論ののち、公益社団法人日本天文学会2018年度予算は賛成多数で承認された。

II-3. 2018年度各賞受賞者の決定

林忠四郎賞（資料5、市川）

受賞候補者として大栗真宗氏が推薦され、その業績について説明されたのち、授賞理由の文言の修正をし、賛成多数で承認された。

欧文研究報告論文賞（資料5、市川）

Okumura et al. (2016)の1件が推薦され、論文内容について説明されたのち、授賞理由の文言の修正をし、全会一致で承認された。

研究奨励賞（資料6、大向）

澁谷隆俊氏、仏坂健太氏、武藤恭之氏の3名が研究奨励賞の候補が推薦され、推薦理由について説明されたのち、文言の修正ののち全会一致で承認された。

天体発見賞/天体発見功労賞、天文功労賞(資料 7、阿部)

天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞(長期および短期)候補について推薦理由が説明されたのち、全会一致で承認された。

日本天文遺産(資料 8、洞口)

日本天文遺産として、3件が推薦され、推薦理由について説明されたのち、明月記については推薦書の文言の修正ののち、会津日新館天文台跡については推薦書どおりに全会一致で承認された。1件については今後議論を継続するため保留動議が提案され、日本天文遺産選考委員会に差し戻しとなった。

天文教育普及賞(資料 9、土居)

候補者として黒田武彦氏、候補団体としてプラネタリアムの会が推薦され、推薦理由が説明されたのち、黒田武彦氏は全会一致で、プラネタリアムの会は賛成多数で承認された。

II-4. 安全保障と天文学について(資料 12、柴田一成)

安全保障と天文学ワーキンググループの活動が報告され、ワーキンググループによる「天文学と安全保障との関わりについて」の声明案が説明された。声明案に対して、意見、議論があり、それらを踏まえてワーキンググループが声明案を引き続き推敲、改訂していくこととなった。

II-5. 会費の値下げ継続について(早野)

2019年1月12日の理事会で審議された、平成31年度の正会員の年会費を引き続き15,000円に減額する「会費に関する細則の改正」が提案され、全会一致で承認された。

III. 報告

III-1. 理事会(2019年1月12日)の報告(山下)

2019年1月12日に開催された日本天文学会 理事会の報告がされた。

III-2. IAU 報告(100年記念シンポジウム)(資料 10、渡部)

IAU100年記念シンポジウムの開催について、開催趣旨、開催日時、場所、プログラム案が説明された。

III-3. 「インターネット天文学辞典編集委員会」(資料 11、山下)

2019年1月12日に開催された理事会において、インターネット天文学辞典編集委員会に関する内規を制定し、構成する委員と共に委員会が発足したことを報告した。

III-4. 「インターネット版天文学辞典ワーキンググループ」進捗報告(資料 13、岡村、縣)

インターネット天文学辞典について、利用者や研究者グループなどからの指摘や意見に対応した改善、改定、更新の具体的な作業内容が報告された。

III-5. 次期理事・監査候補について(資料 14、山下)

2018年度決算承認時から2020年度決算承認時までの理事・監査の候補について現状報告がなされた。

2019年1月26日

議長・署名人：柴田一成 印